

|             |       |           |
|-------------|-------|-----------|
| 福祉科「介護総合演習」 | 単位数   | 1単位       |
|             | 学科・学年 | 介護福祉科（1年） |

(1) 学習のねらい（目標）および使用教材

|              |  |
|--------------|--|
| 学習到達目標       | 実習目標を理解し、実習心得を身に付け、介護実習に意欲的に臨む態度を育成する。また、介護実習での各自の課題を明確にし、課題解決能力を育て、次の段階の介護実習に活かせるようにする。 |
| 使用教科書<br>副教材 | 最新・介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」（中央法規）  |

(2) 評価の観点および評価方法

|       |  |
|-------|--|
| 評価の観点 | <p><b>関心・意欲・態度</b><br/>実習目標を理解し、意欲的に事前・事後学習をしている。</p> <p><b>思考・判断・表現</b><br/>各自の介護実習の具体的な目標を考えている。<br/>介護実習での課題を明確にし、解決のための方法を考えている。</p> <p><b>技能</b><br/>利用者を想定し、基本的な介護技術やコミュニケーションの実習をしている。</p> <p><b>知識・理解</b><br/>実習施設の役割・実習心得・介護技術の基本を理解している。</p> |
| 評価方法  | 学習活動状況（出席・意欲・態度等）、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価する。   |

(3) 授業の受け方および学習方法

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の受け方および学習方法 | 必要事項をノートに書き込む。実技の際は実習着をきちんと着用し、身だしなみに気を配り、積極的に実習を行い、実習記録を提出すること。 |
|---------------|--|

(4) 学習計画

「1学期」 「2学期」

| 項目          | 学習のねらい  |
|-------------|---|
| 校内オリエンテーション | 介護実習の意義と目的、3年間の介護実習の流れ・実習心得を理解する。   |
| 介護実習事前学習    | デイサービスセンターの役割、サービスの内容、利用者の概要を理解する。<br>記録の書き方、実習目標の立て方を理解し、実習記録が書ける。<br>観察の技法・コミュニケーション技法を身に付ける。 |
| 介護実習事後学習    | 8月の実習について、レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化などを行い、次の実習に活用する。  |
| 介護実習事前学習    | 9月の実習に向けて、記録の書き方・観察の技法・コミュニケー   |

|          |   |
|----------|---|
| 介護実習事後学習 | <p>ション技法・衣服の着脱・食事・清潔の介護の実習を行い、デイサービスセンター実習の準備をする。</p>                           |
| 実習報告会    | <p>レポート作成・記録の整理・反省を行い、各自の課題を明確にする。また、評価を通してデイサービスセンターの実習のまとめを行い、次回の実習に活用する。</p> |
| 実習報告会    | <p>実習報告会に参加し、実習の課題を共有し、デイサービスセンターの現状と課題について考える。また、望ましい介護専門職の資質についても考える。</p>     |

「3学期」

| 項 目      | 学 習 の ね ら い  |
|----------|--|
| 介護実習事前学習 | <p>グループホームの役割を理解する<br/>記録の書き方・観察の技法・コミュニケーション技法・衣服の着脱・食事・清潔・排泄の介護の実習を行い、グループホーム実習の準備をする。</p> |
| 介護実習事後学習 | <p>レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化・評価を通してのグループホーム実習のまとめを行い、現状と課題について考える。また、望ましい介護専門職の資質について考える。</p>   |

|             |       |           |
|-------------|-------|-----------|
| 福祉科「介護総合演習」 | 単位数   | 1単位       |
|             | 学科・学年 | 教養福祉科（2年） |

(1) 学習のねらい（目標）および使用教材

|              |  |
|--------------|--|
| 学習到達目標       | 実習目標を理解し、実習心得を身に付け、介護実習に意欲的に臨む態度を育成する。また、介護実習での各自の課題を明確にし、課題解決能力を育て、次の段階の介護実習に活かせるようにする。 |
| 使用教科書<br>副教材 | 介護総合演習・介護実習（中央法規）  |

(2) 評価の観点および評価方法

|       |  |
|-------|--|
| 評価の観点 | <p><b>関心・意欲・態度</b><br/>実習目標を理解し、意欲的に事前・事後学習をしている。</p> <p><b>思考・判断・表現</b><br/>各自の介護実習の具体的な目標を考えている。<br/>介護実習での課題を明確にし、解決のための方法を考えている。</p> <p><b>技能</b><br/>利用者を想定し、基本的な介護技術やコミュニケーションの実習をしている。</p> <p><b>知識・理解</b><br/>実習施設の役割・実習心得・介護技術の基本を理解している。</p> |
| 評価方法  | 学習活動状況（出席・意欲・態度等）、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価する。   |

(3) 授業の受け方および学習方法

|                   |  |
|-------------------|--|
| 授業の受け方<br>および学習方法 | 必要事項をプリントに書き込む。実技の際は実習着をきちんと着用し、積極的に実習を行い、実習記録を提出すること。 |
|-------------------|--|

(4) 学習計画

「1学期」

| 項 目             | 学 習 の ね ら い  |
|-----------------|--|
| 校内<br>オリエンテーション | ・ 2学年での介護実習の意義と目的、実習の流れを理解する。  |
| 介護実習事前学習        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護老人福祉施設・介護老人保健施設について理解する。</li> <li>・ 記録の書き方、実習目標の立て方を理解し、実習記録が書ける。</li> <li>・ 観察の技法・基本的な介護技術・コミュニケーション技法が身に付いているかを確認する。</li> </ul> |

「2 学期」

| 項 目      | 学 習 の ね ら い   |
|----------|---|
| 介護実習事後学習 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化・評価を通して高齢者施設実習のまとめを行い、次の実習に活用する。</li> </ul>                     |
| 実習報告会    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習報告会に参加し、実習の課題を共有し、高齢者施設福祉の現状と課題について考える。また、望ましい介護専門職の資質についても考える。</li> </ul>          |
| 介護実習事前学習 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅サービスの役割と意義を理解する。</li> <li>・記録の書き方・観察の技法・基本的な介護技術の確認を行い、訪問介護同行訪問実習の準備をする。</li> </ul> |

「3 学期」

| 項 目      | 学 習 の ね ら い  |
|----------|--|
| 介護実習事後学習 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化・評価を通して在宅福祉のまとめを行う。</li> </ul>                                   |
| 介護実習事前学習 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者施設の役割と介護者の視点を理解する。</li> <li>・記録の書き方・観察の技法・コミュニケーション技法を確認し、障害者施設実習の準備をする。</li> </ul> |
| 介護実習事後学習 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化・評価を通しての障害者施設実習のまとめを行い、現状と課題について考える。</li> </ul>                  |

|             |       |           |
|-------------|-------|-----------|
| 福祉科「介護総合演習」 | 単位数   | 1単位       |
|             | 学科・学年 | 教養福祉科（3年） |

(1) 学習のねらい（目標）および使用教材

|              |  |
|--------------|--|
| 学習到達目標       | 実習目標を理解し、実習心得を身に付け、介護実習に意欲的に臨む態度を育成する。また、介護実習での各自の課題を明確にし、課題解決能力を育て、次の段階の介護実習に活かせるようにする。 |
| 使用教科書<br>副教材 | 「介護総合演習・介護実習」（中央法規）  |

(2) 評価の観点および評価方法

|       |  |
|-------|--|
| 評価の観点 | <p><b>関心・意欲・態度</b><br/>実習目標を理解し、意欲的に事前・事後学習をしている。</p> <p><b>思考・判断・表現</b><br/>各自の介護実習の具体的な目標を考えている。<br/>介護実習での課題を明確にし、解決のための方法を考えている。</p> <p><b>技能</b><br/>利用者を想定し、基本的な介護技術やコミュニケーションの実習をしている。</p> <p><b>知識・理解</b><br/>実習施設の役割・実習心得・介護技術の基本を理解している。</p> |
| 評価方法  | 学習活動状況（出席・意欲・態度等）、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価します。  |

(3) 授業の受け方および学習方法

|                   |   |
|-------------------|---|
| 授業の受け方<br>および学習方法 | 必要事項をノートに書き込む。実技の際は実習着をきちんと着用し、積極的に実習を行い、実習記録を提出すること。 |
|-------------------|---|

(4) 学習計画

「1学期」

| 項目                      | 学習のねらい  |
|-------------------------|---|
| 校内オリエンテーション<br>介護実習事前学習 | 3学年での介護実習の意義と目的、実習の流れを理解する。<br>記録の書き方、実習目標の立て方を理解し、実習記録が書ける。<br>観察の技法・基本的な介護技術・コミュニケーション技法が身に付いているかを確認する。 |

「2学期」

| 項目                | 学習のねらい  |
|-------------------|---|
| 介護実習事後学習<br>実習報告会 | レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化・評価を通して高齢者施設実習のまとめを行い、次の実習に活用する。<br>実習報告会に参加し、実習の課題を共有し、高齢者施設福祉の現状と課題について考える。また、望ましい介護専門職の資質についても考える。 |

「3学期」

| 項目   | 学習のねらい  |
|------|---|
| 事例研究 | 事例研究の意義について理解し、テーマを設定する。<br>事例研究を意識した実習の進め方を理解し、考察を行う。<br>事例研究についてまとめ、発表する。 |

